



兵庫県日赤有功会が 視察旅行

～豊かな自然と歴史に触れる 石垣島離島と沖縄本島めぐり～

10月7～9日、兵庫県日赤有功会が、親睦と見聞を広めるため、石垣島離島めぐりと沖縄本島を視察旅行しました。

石垣島の川平湾では、グラスボートで美しい海の世界を満喫。また、西表島の仲間川ボート遊覧では、爽やかな風と雄大な自然を楽しみ、由布島では可愛い水牛とふれあい、ゆったりとした時間を過ごしました。

最終日には、那覇市の日本赤十字社沖縄県支部を訪問。沖縄県支部の歴史や兵庫と沖縄の友愛交流の講話のあと施設を見学しました。その後、太平洋戦争末期に沖縄最後の官選知事として命を賭して赴任し、「沖縄の島守」として慕われた兵庫県出身の島田勲氏の顕彰碑を訪れ、故人の遺徳に思いを馳せました。

沖縄の自然や歴史、人々の温かさに触れ、また美味しい郷土料理も存分に味わいながら、とても有意義な視察旅行であったと皆さんからお言葉もいただき、無事に全行程を終えることができました。



沖縄県支部前にて集合写真

兵庫県日赤有功会は、日本赤十字社に多大の尽力をされたことにより、有功章を受章された方々によって組織され、赤十字事業を側面から支えていただいております。

日本赤十字社では新規会員を募集しています。詳しくは ☎ 078-241-8921 (振興課)まで



「海外たすけあい」がはじまります

～人間を救うのは人間だ！たすけたいという思いをひとつに～

今年も12月1日から25日までの期間、第33回海外たすけあい募金キャンペーンが開催されます。

日本赤十字社では、皆さまからのご支援をもとに、これまでも多発する紛争や自然災害の犠牲者への緊急救援、世間の関心が集まりにくい途上国などでの防災や地域衛生の改善などの課題に取り組んでまいりました。

しかし、世界ではシリア難民やネパール大地震など、紛争や自然災害により多くの命が奪われ、困難な生活を強いられている人々が今も数多くいます。

海外たすけあい募金は「紛争で苦しむ人々への支援」「災害で苦しむ人々への支援」、そして「病気で苦しむ人々への支援」がテーマ。

皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

講習のご案内

お問い合わせは、
お電話またはホームページで ☎ 078-241-1499 (講習係)

救急法基礎講習(1日受講)

1/16④ 13:00～17:30

救急法基礎・救急員養成講習(3日間受講)

12/19④・20④・23④⑤ 9:30～17:30
1/9④・10④・11④⑤ (初日は13:00～)

幼児安全法(2日間受講)

12/12④・13④ 9:30～17:30

科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

幼児安全法講習

こどもに起こりやすい事故の予防と手当てについて

12/18④ 10:00～12:00

幼児安全法講習

乳幼児の一次救命処置(PBLS)

12/18④ 13:00～15:00

幼児安全法講習

乳幼児の災害時支援

1/30④ 10:00～12:00

健康生活支援講習

災害時高齢者生活支援講習(災害が起こった時、支援できること)

1/31④ 10:00～12:00

◇申込期日は開催日(初日)の一カ月前までです。◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

ひょうごの 赤十字

2015
November 11月

各地で地域赤十字奉仕団員研修会を開催



- 次の世代に伝えておきたい
- 第4ブロック青少年赤十字国際交流集会を開催
- 災害現場でどう考え行動するのか?
- 兵庫県日赤有功会が視察旅行
- 「海外たすけあい」がはじまります
- 講習のご案内



日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目4番5号

☎ 078-241-9889

赤十字 兵庫 検索



各地で地域赤十字奉仕団員研修会を開催

「住みよい地域社会を作ろう」という思いの人々により、市区町村ごとに組織された地域赤十字奉仕団。高齢者生活支援活動や児童の健全育成活動など地域に根ざした活動をはじめ、災害発生時には救援物資の配付や炊出しなどの被災者支援活動を行います。

兵庫県支部では、地域の最前線で活動する地域赤十字奉仕団の皆さまに、赤十字活動への理解を深め、今後の活動のさらなる充実につなげていただくため、必要な知識や技術を身に付けていただく研修会を平成10年から毎年開催しています。

今回は、「奉仕団員として知っておいていただきたいこと」と題した講話の他、防災をテーマに「災害への備え」と「災害食を考える」と題した講話、非常食作りと試食、心肺蘇生法とAEDの使い方の実技に取り組んでいただきました。

◆各地域の研修会の様子

※()内は参加人数



10月6日 丹波・北播磨地域 (32人)



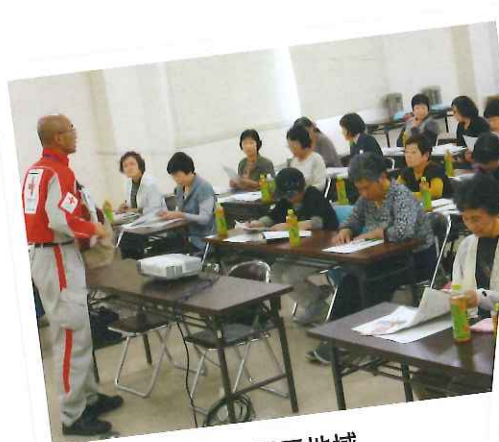
10月9日 淡路地域 (22人)



10月14日 西播磨地域 (29人)



10月22日 神戸・阪神地域 (74人)



10月8日 但馬地域 (28人)



10月20日 東播磨・中播磨地域 (31人)

参加された奉仕団員から「普段からの備えをまずは我が家から始めなければと思った」「研修内容を他の団員にも伝え、さらに安全安心な地域となるよう今後も取り組んでいきたい」など多くの感想をいただきました。

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします



次の世代に伝えておきたい

～上郡赤十字奉仕団が小学生親子に防災講習～

9月30日、上郡赤十字奉仕団と兵庫県支部が「防災と食育」をテーマに、上郡町立山野里小学校3年生の児童と保護者131人に防災講習を行いました。

山野里小学校の親子ふれあい事業の一環として行われたこの講習では、災害から身を守るため災害の種類や避難時の注意点、普段から備えておくことなどの講演に続き、非常食と炊出しの試食、三角巾を使ったきずの手当てを学んでいただきました。参加した児童からは「初めて非常食を食べたけどおいしかった」「三角巾が上手に結べた」といった声が聞かれました。

上郡赤十字奉仕団の森中委員長は、「この地域には今まで災害はなかったが、近年各地で発生しており、いつどこでどんなことが起こるか分からない。今後のためにも若い方に伝えておきたい」と話されていました。



児童と一緒に三角巾を使ったきずの手当てに取り組む奉仕団の皆さん



第4ブロック青少年赤十字国際交流集会を開催

青少年赤十字の実践目標の一つ「国際理解・親善」。広く世界の青少年との交流を通じて、お互いの文化の違いを知ることで親睦を深め、仲よく助け合う奉仕の精神を養うことをねらいとしています。

9月17～23日、第4ブロック(近畿2府4県)支部では、マレーシア赤新月社のメンバー(生徒)を受け入れ、兵庫県の高校生2人をはじめとする青少年赤十字メンバーとの国際交流集会を開催。各支部でのプログラムに取り組むとともに、19日からは奈良県葛城市に会場を移し、文化交流や救急法講習、車いす体験を含めたフィールドワークなどに取り組みました。

初めは英語での交流に少し不安を感じていた日本のメンバーも、マレーシアのダンスと一緒に踊ったり、お互いの文化や青少年赤十字の活動を学ぶうちに緊張がほぐれ、2日目には堂々と英語でディスカッションをし英語と日本語の両方で発表するなど、大変充実した国際交流となりました。

別れ際には涙も見られましたが、この友情がこれからも続くことを願っています。



ダンスと一緒に踊り、距離がぐっと縮まったメンバーたち



災害現場でどう考え行動するのか?

～姫路赤十字看護専門学校がトレーニングセンターを実施～

地震、津波、豪雨、火山噴火など、近年、国内外で自然災害が多発しており、災害看護の重要度はますます高まっています。

そこで、姫路赤十字看護専門学校では、例年、教育課程の一環として経験型学習「トレーニングセンター」を開催し、看護学生の自主性や指導性、さらには看護知識、看護行為などの技能に加え、経験という学力の獲得に努めています。また、団体行動を通じて仲間との相互理解や災害救護活動への理解を深め、災害時の基本的救護技術や行動力を養うことにも努めています。

10月8日、宍粟市生涯学習センターで行われたトレーニングセンターでは、基礎行動訓練の他、救護所テント設営や救護所での応急処置、救護資器材の取り扱い方を学ぶ訓練が行われました。

また、震度6の直下型地震が発生し多数の負傷者が出ていると想定した模擬訓練も行われ、看護学生は救護班の一員として自身の役割を認識し、互いに協力し迅速な行動をとるなど、真剣に災害看護に取り組んでいました。

